

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

都道府県名	04_宮城県
市区町村名	042129_登米市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
登米市	②学校と地域の課題	その他	個人登録者に対する活動率75%。新たなボランティア確保も必要だが、学校からの活動依頼を増やすことや学校のボランティア活動依頼を余裕をもってもらうなどの対応が必要である。また、支援を必要とする児童の見守りなどボランティアの範囲を超えた依頼も課題である。	登録ボランティアや学校教員を対象に「特別の教科 道徳」を題材としたボランティア研修会を実施した。参加者数は約100名となり、学校支援ボランティア活動が盛んになる中で、子どもの育ちの現状と背景を理解し、皆で共通理解することができた。	登録ボランティアや学校教員を対象としたボランティア研修会等の開催や学校運営協議会において理解を求めていく。	学校と地域がそれぞれ連携し支え合いながら、子どもの成長を地域全体で支えていく仕組みづくりを推進することで、学校支援ボランティアのさらなる充実が図られ、児童・生徒の学習環境がより良くなる。	学校支援ボランティアの登録人数	454	人	500	441	3 学校との連携による登下校時の安全確保や防犯活動、学校支援ボランティアだよりの発行等を通じ、学校支援体制の充実とボランティアの新規登録者の増加を図った。一方、登録者の高齢化等により年度更新を行わないボランティアも多く、全体の登録者数が減少していることが課題となっている。今後は、学校ごとのニーズを把握し、協働教育地区コーディネーターを中心に、PTAや各種団体等との連携を強化し、新たなボランティア人材の確保を図る。